

磐城中正新報

發行日 毎月一日 十五日
 郵税 共 一部 金 拾 錢
 廣告料 普通欄十二字一行情
 一回八十錢 場所指定
 同二十錢 増
 印刷 編輯 安澤榮作
 發行所 福島縣平野郡磐城四
 里 磐城中正新報社

縣下の大村

内郷村の選挙終る

大字側依然絶對多數 無産黨僅かに一名當選

縣下第一の大村たる本縣内郷村會議員改選の途鹿戦は頗る猛烈を極めたが愈去る八日午前六時より午後六時までに投票を締切り同七時より十一時までに開票終了有権者總數四千二百三十二名の内總投票數四千七百票棄権は僅かに五分と云ふ炭礦所在地としては珍らしき好成绩を示した尙候補者中會社側及大字側の全部が當選したに反し無産黨は四名の内一名の當選を見たので惨敗し大字側絶對多數を制し職業別に觀ると會社員十三名、商業八名、農業六名で最高年齢は菅波忠治氏の六十七歳、最低は廣瀬貞氏の三十三歳で平均年齢は四十六歳となる當選者如左

- | | | | |
|-----|---|---|---|
| 一四八 | 南 | 波 | 正 |
| 一三八 | 山 | 崎 | 喜 |
| 一三三 | 志 | 賀 | 留 |
| 一三二 | 加 | 藤 | 丈 |
| 一三一 | 平 | 田 | 良 |
| 一一九 | 長 | 谷 | 川 |
| 一一六 | 馬 | 目 | 子 |
| 一一四 | 猪 | 狩 | 喜 |
| 一一三 | 鈴 | 木 | 佐 |
| 一一二 | 菅 | 波 | 忠 |
| 一一一 | 沼 | 田 | 濱 |
| 一一〇 | 金 | 澤 | 爲 |
| 一〇八 | 小 | 松 | 定 |
| 一〇七 | 大 | 方 | 遠 |
| 一〇四 | 生 | 田 | 常 |
| 一〇一 | 久 | 野 | 喜 |
| 一〇〇 | 石 | 橋 | 弘 |
| 九三 | 加 | 美 | 山 |
| 八八 | 小 | 南 | 不 |
| 七九 | 根 | 本 | 金 |
| 六七 | 井 | 出 | 金 |
| 六六 | 廣 | 瀬 | 貞 |
| 一六四 | 高 | 原 | 重 |
| 一六二 | 山 | 崎 | 辰 |
| 一五五 | 島 | 田 | 兼 |
| 一四九 | 龜 | 田 | 修 |
| 一四八 | 港 | 慶 | 三 |

祝當選

内郷村 野外生 議君の當選を祝し併て希望の一端を述べ

や實に思へやられる其昔英雄の戰場に於る何ぞ異なる處がない、諸君の發表せる挨拶状を見るに愛村の念禁する能はずと村治に對する經倫抱負を信條として選挙第一次の政戦に奮戦したのである、吾人は其意氣や盛なりとし切に其手腕に期待するものである、而して開票の結果當選の榮を得られたのである普通選挙第一次の議政壇上に抱負を披瀝することが出来る世間では議員になれば名譽だと思ふ人があつた、夫れは大なる誤解である、夫れは名譽なるものは職務ではない、例へば社官のものである、國家社會に功勞の澤山ある人は名譽なのである、いづら高位高官の人でも功勞がなかつた時日のみ經過したてでは却て不名譽と云はなければならぬ、諸君は既に選挙運動に費したる努力を移して今後に於ける村治上の諸問題に對し其經倫を實現せしめ村民の福利を計つてもらへたい、夫れこそ名譽と稱すべきである、是れ吾人の期待にして亦村民の希望である愛に議員の當選を祝し併て希望の一端を述べ

俳句

小川郷 吉岡 獨歩
 平町議戦後記
 五月三十日
 競馬馬堅睡を呑んで眺めけり
 盲人の點字投票
 交じり咲きて放つ異彩や黒牡丹
 高齡の選挙人
 八十の翁も出たり早苗取
 其夜の選挙會
 今し聞く勝敗の鍵や杜宇
 午後十時頃
 短か夜や悲喜交々の宵の口
 午前零時前後
 夜をこめて守る陣屋や明易き

夏井村議の當選者

石城郡夏井村は従來政民兩派に岐れ事毎に相反目し村治上圓滑を欠き郡下の難治村と觀られてゐたが村有志者の深愛と一般村民の自覺に依り一昨年新舞子にて一大清遊の大會以來打つて變りし平和の理想村に廻り小学校の改築を筆頭に農事の獎勵産業の振興等實に近來は目覺しき進展振りを示して來た尙同村の村議改選も去る七日至極平穩裡に終了し左の諸氏大多數を以て當選した

- 酒井 糸 吉
 大和田 清 治
 大和田 喜 宗
 矢吹 喜 藤 治
 矢 吹 豐
 鷗 沼 常 治
 小林 半 治
 高 木 泰 造
 渡 邊 佐 重
 鈴 木 幸 吉
 山名 仙 之 助
 青木 勇 治 郎

銘酒由良之助 釀造元で純粕 取り焼酎賣出し

警陽酒造界に有名な銘酒由良之助釀造元平町久保町永山和氏は例年の如く夏季好飲料の随一たる純粕取り焼酎を本月一日より賣出

したるが品質優良、價格低廉、配達迅速、空瓶交換等が呼び物で一般に歡迎され半釋前通り同酒造店總發賣元では發賣以來注文殺到多數の店員が配達に天手古舞

募集 文藝其他投稿を募集します
 り盛況である尙總發賣元の電話二〇七番を呼出して注文すれば多少に拘らず敏速に配達すると

藥の御用は
 平町五丁目
 山野邊藥局へ

當選御禮
 内郷村會議員
佐藤三平

當選御禮
 内郷村會議員
加藤丈夫

當選御禮
 内郷村會議員
生田常弘

小名濱町會議員候補者
小野晋平君は
 志操健實にして人格手腕識見共に卓越し町治に功勞多き同君を小名濱町會に送るは實に吾等の本懐である
 小名濱町百年の大計を建設する爲めに有権者各位の御同情に懇ふ
 小名濱町 福尾伊太郎

書籍文房具の御用は
是非弊店へ御用命を願ひす

平町二丁目

清水屋書店

電話一三一番

日立電氣株式會社
内郷散宿所

權瓶順太

内郷村字瀧

渡邊豊治

内郷村字峯根

磐城炭礦株式會社支柱監督

佐川米吉

内郷村字峯根

雜貨商

追川喜六

内郷村字瀧

池田茂

内郷村字峯根

洋品荒物
雜貨商

大勉商店

内郷村字綴

ユラノスケ純粕取焼酎發賣

二合白瓶二十五錢 (空瓶交換仕候)

平町四丁目平驛前通り

永山酒造店總發賣元

電話二〇七番

良品廉賣に勝る商略なし

磐城平町五丁目

磐城セメント株式會社特約代理店

和洋銅鐵 釜屋商店

電話九番 一三九番

振替貯金口座東京一〇九五六番

確實敏捷はの生命なり

大好評目下發賣中の

婦人俱樂部浴衣

眞岡地 二圓五十錢

紹ボイル 三圓八十五錢

音曲諸流家元好み

眞岡地 二圓三十錢

紹 三圓五十錢

外最新柄十數種中形陳列

蚊帳廉賣

木麻かや六八 六圓五十錢

子供ホロかや 五圓十錢

種々豊富に取り揃へ申候

平町三丁目

三井服店

電話三八番

當選御禮

豐間村會議員 (順不同)

比佐熊吉

馬目常吉

阿部源兵衛

永山喜作

江名中ノ作鐵工所

吉田正雄

當選御禮

坂本幸四郎

小野久四郎

松本金治

藁谷藤太郎

高田彌勇

吉田丈助

平窪村會議員 (同不順)

當選御禮

夏井村會議員 (順不同)

酒井衆吉

大和田清治

大和田喜宗

矢吹喜藤治

矢吹豐

鵜沼常造

小林半治

高木泰造

渡邊佐重

鈴木幸吉

山名仙之助

青木勇次郎

類焼御見舞御禮

今朝類焼の際は早速御馳付の上消火に御盡力被下
有難御禮申上候一々拜趨御禮可申述候處混雜の際
とて乍略儀以紙上御厚禮申上候

昭和四年六月十四日

平町紺屋町藤沼醫院方

假寓 青山而象